

# すくわくプログラム報告書

施設名	田中ナースリー大和保育園
クラス	1歳児
日付	2025.6

## 1 活動のテーマ

<テーマ>

自然（カタツムリ）

## 2 <テーマの設定理由>

自然豊かな園庭と、園周辺の自然環境から発見された生き物との出会い。子どもたちの身近なクラス内で飼うことにより、日々の変化を感じ、発見を言葉や身振り手振りの表現活動へ興味関心を広げるため設定した。

## 3 環境の設定

<活動のために準備した素材や道具>

飼育ケース（小さな通気口のあるもの） 砂、水、木や葉っぱ  
野菜くず（給食室でもらう）

飼育ケースを置く棚

#### 4 探索活動の実践内容

毎年、園の玄関のゴールドクレスト根元から「カタツムリ」がいることを子どもたちが教えてくれる。赤ちゃんカタツムリでとても小さい。

1歳児の子どもたちも、小さなカタツムリと出会う。

「みたい！」と小さなカタツムリがどこにいるか、覗き込む姿、時々友だちを押す姿もありつつ、順番にゆっくり見てみようと言をかけると、観察していた。

「いる！」「ここいる！」「みて！これ！」と発見したカタツムリを教えてくれる。



少しずつ動いているのか、止まっているのか分からないくらいの動きをじーっと観察。

保育者：かたつむりさんって何食べるのかな？ 給食の先生に何かもらいにいこう！

子どもたちと一緒に給食室へいき、調理さんと相談。

こどもたち：「おやさい くださいなー」

調理さん：野菜の皮とかかな。それだったらこれがいいかな。

（にんじんの皮やキャベツの切れ端をもらう）



保育室に戻り、みんなと飼育ケースに野菜くずを入れてみる。

子どもたち：「にんじんたべるかなー」「たべてー」

「はっぱもー」

保育室の真ん中の棚に置き、

これからみんなでお世話をしていくことにした。



#### 5 振り返り

カタツムリの出会いから、初めは何かわからなくて様子見の子もいたが、友だちの様子を見て近づいて覗き込んでいた。小さな生き物が、葉っぱや飼育ケースに貼りついているのを不思議に思って、指をさして「ここにいるよ」「みつけた」と知らせしてくれる姿があり、保育者にも友だちにも伝わって喜ぶ姿があった。

調理室との連携では、普段行くことが無かった給食室との交流や、調理師さんとの対話で、野菜をもらうなど、子どもたちの行動範囲やイメージの世界も広げることができた。